

俳句の部 審査員総評

大人の部は総数290句。季節別では、春61、夏83、秋85、冬(新年)51。無季が10句ありました。季節による作品数に大きな差はありません。四季を通して自然(水と緑)に親しまれているからでしょうか。作句経験の長い方から初心者らしい方、一人で数十句も投句された方もおられます。その中から30句選定いたしました。

子どもの俳句は総数338句。先生のご指導もあるのですが、どの句も生き生きのびのび、型におさまらない元気な句です。これらの中から10句選びましたが、その10倍は選びたいと思いました。ステキな作品群でした。

いよいよ2020年、東京オリンピック・パラリンピックです。江戸川区は「水と緑の街」にふさわしく、カヌー会場となります。外国の方が大勢訪れると思います。文化の交流、ふれあいがあります。そんな時、「五七五輪ピック」。俳句でおもてなしができればステキです。俳句愛好者の皆様のますますのご健勝、ご健吟をお祈りいたします。

江戸川区俳句連盟 会長 山内 健治

隣家の	柚の二ツも	越年す	中川	巖
ゴーヤーは	陽を欲張って	燃え落ちる	夏井	房江
人知れず	熟れて谷間の	烏瓜	萩原	真知子
馬の目の	飽く迄やさし	若葉揺る	堀	須摩子
紫陽花の	せり出す塀の	見張り猫	松本	義治
散り敷きて	小紋のごとし	夕紅葉	美里	三代子
一葉忌	祖母の形見の	長火鉢	宮島	沙映
掌の	干し柿の皺	己が皺	横路	裕子
釣糸を	黙して垂るる	冬帽子	若松	甫枝
一畝を	はみ出すもあり	葱坊主	渡辺	弥生

子どもの部

どنگりや	まわれまわれと	こままわし	石川	此花
わらい声	ストーブよりも	あたたかい	井ノ浦	隼斗
春の森	オカリナひびく	星の下	金澤	涼
さくら舞う	青くきれいな	空と君	川口	亜実
はく息の	白さ見つめて	オリオン座	笹原	夏樹
春一番	風が帽子を	さらってく	嶋田	美波
サンタさん	今年はどんな	ゆめはこぼ	高柳	連
どنگりが	しのぎきこうえん	ころころ	田島	晴花
初日の出	ダイヤモンドの	まなざしだ	萩原	達樹
朝つゆに	光り輝く	月見草	瓦家	千華子

平成29年度 花と緑の写真・短歌・俳句コンクール

【応募期間】

平成29年6月1日(木)～平成29年11月30日(木)

【応募総数】

写真の部 94点
短歌の部 33首
俳句の部 628句